**Ｐ４**

**Ｐ５**

**内　容**

**日　時**

参加の記録

社会には、心のバリアフリーに関する様々なイベントや研修等、

心のバリアフリーを学び、体験し、実践する機会がたくさんあります。

そのような機会に積極的に参加して、あなたの取組を記録していきましょう。

**Ｐ２**

**Ｐ３**

わたしの行動宣言

「心のバリアフリー」を学ぶアニメーション教材を通して学んだこと、

気づいたことをどう実践していきますか？

今日から何ができるか、そして、大きな目標として、一年後にどんな

ことができていたらよいかを書いてみましょう。

**１年後**

**今日これから**

**内　容**

**日　時**

**Ｐ７**

**Ｐ６**

**Ｐ８**

１人１人が具体的な行動を起こし、継続する

ことが、共生社会を実現する力になります！

**（表紙）**

**心のバリアフリー**

**わたしの行動宣言**

**名前**

**「心のバリアフリー」を体現するポイント**

①障害のある人への社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるという「障害の社会モデル」を理解すること。

②障害のある人（及びその家族）への差別（不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供）を行わないよう徹底すること。

③自分とは異なる条件を持つ多様な他者とコミュニケーションを取る力を養い、すべての人が抱える困難や痛みを想像し共感する力を培うこと。

**「心のバリアフリー」とは**

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。

（「ユニバーサルデザイン2020行動計画（2017年2月ユニバーサルデザイン2020関係閣僚会議決定）」より）